

番号	後期基本計画 総合戦略	該当 ページ	項目	意見	町の考え方	案の修正
1	後期基本計画	1	人権意識の確立と人権擁護の推進	KPIという略語が最初に出てくるので、総合戦略案の2ページにある略語の説明をここで掲載したほうが望ましいのではないかと。	基本計画の前段で、基本計画の見方を示し、その中でKPIの説明を加えます。	
2	後期基本計画	1	男女共同参画の推進	「審議会等における男女委員の各構成割合」の目標が「維持」とされているが、長年人口比で女性が多くを占めていることから、目標としては50%を目指すことが望ましいのではないかと。	町の審議会の女性登用率は、R6年度に41%と、全国市町村約1,700団体のうち44位と高い数字となっています。国の第5次男女共同参画基本計画では、審議会等における女性の参画割合の目標は「40%以上60%以下」とされており、町としてもこの範囲内を目標としています。性別による数的な均衡を前提とせず、任用にあたっては適任性を重視し、柔軟に対応していきます。	
3	後期基本計画	3	スポーツ活動の支援	課題として「スポーツ協会の活性化」が挙げられているので、取組方針でも取り上げることが望ましいのではないかと。	取組方針の「スポーツを支える人材の育成と確保に取り組む」において、スポーツ協会の活性化に取り組んでいきます。	
4	後期基本計画	7	3 基本目標 ひととまち がにぎわい魅力あふれるまち	4 まちの魅力の向上と歴史文化・産業の振興 福岡空港に隣接している当町の立地、強味(資源)を活かし、住む人・訪れる人・働く人にとっての魅力やPR、事業化して国内外から選ばれるまちづくりに取り組むことを提案いたします。	福岡空港に隣接するという志免町の立地は、町の大きな強みであり、今後のまちづくりにおいても重要な点と認識しています。住む人・訪れる人・働く人にとって魅力あるまちとなるよう、地域の特色を活かしたPRや取組を、今後も進めていきます。	
5	後期基本計画	7	シティプロモーションの推進	KPIの現状値(81.9%)に対する目標の方向性が「上昇」にもかかわらず、目標値が「80.0%以上」と減少しており、訂正が必要と思われる。	令和6年度の目標値が79.2%であったものを、この度80%に引き上げたものです。近年の数値は、毎年80%以上という高水準を推移しており、今後も80%以上を維持しながら、より高い数値を求めていきたいと考えています。	
6	後期基本計画	9	子育て支援の充実	志免町に病児保育が無いので作って欲しい 病児保育がある事で頼れる親族が近くにいない状況の家庭からすると仕事、家事の両立ができるので有り難いです	病児保育事業は、志免町、宇美町及び須恵町の3町の広域事業として実施し、町外の病院に委託しています。町内にも整備したいと考えていますが、実施場所や施設整備、人材の確保など、病児保育の実施に必要な条件が整わず、現時点では実現できていない状況です。今後も引き続き、多方面への働きかけを行いながら、病児保育事業の拡大に向けた取組を進めてまいります。	
7	後期基本計画	26	後期高齢者医療の適正な運営	課題の「医療費の増加を抑制」に対する取組方針が、「保険料の収納率向上」の一点だけでは不十分に感じる。収入増による支出割合の減少策だけでなく、医療費増加を抑制する直接的な方策案も追加することが望ましいのではないかと。	この施策・取組では、後期高齢者医療制度運営に関する内容となっており、一方で医療費増加を抑制する取組については、「健康づくりの推進」などの他の施策において、進めていくこととしています。	
8	後期基本計画	28	防犯対策の推進	KPIの指標名として、「(例えば10)年以上管理不全な状態で放置されている空き家の割合」について、現状値・目標の方向性・目標値を明記することは困難だろうか。	空き家の対策については、防犯対策の推進に関する取組の一部であり、取組全体の進捗を把握するKPIには適当ではないことから、本計画でのKPIを設定は難しいところです。一方で、事務事業評価においては管理不全な空き家の件数などの指標を設定し、取組を進めているところです。	
9	後期基本計画	29	交通安全対策の推進	志免西小学校通学路、周辺道路のゾーン30区間の設置。福岡空港、モール開発に伴い人口増加、交通増加の可能性があり。現時点で亀山団地から危険物積載車両の交通も多く対策して欲しいと2年間意見し続けていますが対策がないため。	交通安全対策については、今後の人口推移や交通量の変化も見据え、引き続き関係機関との連携を図りながら、実現可能な取組を検討していきます。	
10	後期基本計画	32	衛生環境の維持	KPIの指標名中「…環境衛生…」と、町の取組1の「衛生環境」との相違が不明確。	表記を明確化するため、町の取組名を「環境美化意識の向上」に変更します。	○

番号	後期基本計画 総合戦略	該当 ページ	項目	意見	町の考え方	案の修正
11	後期基本計画	32	衛生環境の維持	指標名の「…特に気になることがない町民の割合」に関して、「現状」で述べられているように、生活環境が優れているとは言い難いと実感している。「気になることがない」という答えには、「汚れていない」だけでなく、「気にしていない。無関心」という町民も含まれるのではないかと危惧している。今後は設問の表現を工夫してほしい。	このKPIについては、毎年行う町民意識調査の設問となっています。ご指摘のとおり、町民の意識を正しく把握できるよう設問や選択肢の表現を工夫してまいります。	
12	後期基本計画	32	ごみの収集処理	KPIの現状値(598g)と目標値(600g以下)からは、目標の方向性は「下降」でなく「維持」が妥当ではないか。「下降」とするのであれば、もっと下降が明確な目標の数値を挙げてほしい。	近年の数値は、600g台を推移しており、R6のみ600g以下になっているため、今後の推移を注視しつつ、ごみの排出量の削減に向けて今後も600g以下を目指すとしています。	
13	後期基本計画	45	用語解説	DXを解説するのであれば、解説中に出てくるICTについても備考等で説明したほうが親切ではないか。	ICTの解説については、P13の用語解説に記載しています。	
14	後期基本計画	46	適正な課税と公正な徴収	課題と取組方針で「報告書や申告書」の語順が入れ替わっている意図が不明である。	ご指摘のとおり、統一した表記とします。	○
15	後期基本計画	47	積極的な広報活動	町からの情報発信媒体が増えても、全ての媒体を把握する住民は限られる。媒体によって町からの情報の漏れが生じない着意・工夫を期待する。	貴重なご意見として、今後の取組の参考とします。	
16	後期基本計画	47	広聴の充実	KPIの現状値44.3%に対して、目標の方向性が「上昇」ながら目標値が40.0%となっているので修正が必要だ。	近年の数値は、毎年30%台を推移しており、R6のみ40%以上になっているため、今後の推移を注視しつつ、今後も40%以上を目指すとしています。	
17	後期基本計画	50	適切な公金出納	課題の「適正な時期に負担行為が計上されていない」の是正について、取組方針にもKPIの指標名にも触れられていないようだが、問題はないか。	取組方針の「不適切な支払事務を未然に防止する取組を行う」ことに課題の是正内容も含まれています。	
18	後期基本計画	-	-	現在、志免町民の生活支援を考える会を結成し、志免町が掲げる「安心して生活できる志免町」にしていくには、何をどの様にして行けば良いか？について話し合い、活動を行っています。この会のメンバーさんと協議し、会として目指す方向として決定した「コンパッション・タウン志免」を目指そう！です。今回、第6次志免町総合計画後期基本計画を含め、今後の志免町として、この「コンパッション・タウン志免」を目指す！その内容を入れるよう検討いただきたいと思います。	町民同士の繋がりや支えあいに関しては、P24「11 地域福祉の充実」において「町民がお互いに支えあい、困りごとを抱え込まずいつでも相談でき、安心して暮らし続けられるまち」を目指して取組を進めていきます。ご意見を踏まえ今後の取組を進める上で参考とさせていただきます。	
19	後期基本計画	-	子どもの医療費について	子どもの医療費を中学生まで無償化して下さい、志免町は多くの子どもが生活をしています。全国の市区町村比でも割合としては高い部類に入るはずですが、現在の財源は主に何歳くらいのゾーンに多く使われているのでしょうか。多くの未来ある子どもたち、そして子ども達を支える親世代の負担を軽減し、より活気のある魅力的な町をするためにも都市圏へのアクセス以外の魅力を福岡市以上に発揮してください。そのためにも中学生までは無償化、更にプラスαも検討ください。	子どもに対する財源に関しては、現在の総合戦略において乳幼児から中高生までに対する具体的な施策を定め、財源を優先的に配分しています。子どもの医療費の助成制度については、財政状況を勘案しながら、対象範囲の拡大を検討していきます。	

番号	後期基本計画 総合戦略	該当 ページ	項目	意見	町の考え方	案の修正
20	後期基本計画	-	ゴミ処理問題	年末年始等大型連休も普段と変わらないゴミの回収スケジュールで運営してください。 志免町のゴミ袋は全国平均よりも安いのでしょうか。若しくは高いのでしょうか。 私のイメージとしては高いと思います。 高いにも関わらずゴミの回収スケジュールは大型連休はスキップされます。 これは住んでいる身からすると大変不便です。 年末年始など大型連休には人が集まります。 外食ではなく家での食事機会も増えます。 (志免町は子どもも多く、店も閉まっているため) にもかかわらず、ゴミは回収しない。そのゴミは家の中で管理する必要があります。 もちろん回収される方にも生活を営む権利があり、休暇も必要です。 ただ、平均よりもお金をもらっている事業者は平均よりも良いサービスを提供する必要があると思います。 大型連休でもいつもと変わらないスケジュールでのゴミの回収を。叶わないのであればゴミ袋の値段を下げて下さい。	大型連休中のごみ回収については、収集業務従事者の勤務体制や処理施設の稼働状況などを踏まえ、現在の運用となっています。 また、ごみ袋の価格については、近年の石油価格の高騰が影響を及ぼしておりますが、可能な限り価格の維持に努めているところです。 これらの状況を踏まえ、現時点では運用方法の変更は予定しておりません。	
21	総合戦略	3	保育環境の充実	「令和8年度からの…」の項目について、新たな制度名を強調するために「こども誰でも通園制度」とカッコ書きすることが望ましいのではないかと。	強調するためのカッコ書きは設けない形で表記の統一を図っています。	
22	総合戦略	3	-	KPIに日本語訳が付いているが、2ページに日本語訳と解説があるので日本語訳は不要と思われる。一方、「後期基本計画(案)」については、KPIについての日本語訳も解説もないので、統一することが望ましいのではないかと。	ご指摘のとおり、統一した表記とします。	○
23	総合戦略	4	学校生活の充実	KPIの目標値が「全国平均以上」なので、前記「基本的方向」の数値目標同様に全国平均値も明示することが望ましいのではないかと。	ご指摘のとおり、統一した表記とします。	○
24	総合戦略	6	文化活動の支援	KPIの指標名に文化施設として「生涯学習館と町民センター」が挙げられているが、町のホームページのインターネットで予約できる施設には「シーメイト(文化施設)」も示されている。「生涯学習館、町民センター等」とする必要性はないかと。	予約システムでは文化施設という表記ですが、シーメイトは文化施設ではなく総合福祉施設であるため、P24「11 地域福祉の充実」に含んでいます。	
25	総合戦略	7	生きがいづくりと社会参加の促進	KPIの目標の方向性が「維持」とされているが、項目名の「促進」とは一致しないと思われる。認定率減少を表す「降下/下降」に変更する余地はないかと。	今後、高齢者人口の増加し、それに応じて65歳以上の要介護・要支援と認定される方も増加が予測されるため、「降下/下降」は目標の方向性として、現実的ではないと考えます。少なくとも現在の水準を維持するため、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進する取組を進めてまいります。	
26	総合戦略	9	シティプロモーションの推進	KPIの目標の方向性を「上昇」としながら、目標値が現状値より小さいのでは正が望ましい。	令和6年度の目標値が79.2%であったものを、この度80%に引き上げたものです。近年の数値は、毎年80%以上という高水準を推移しており、今後も80%以上を維持しながら、より高い数値を求めていきたいと考えています。	
27	総合戦略	10	防犯対策の推進	総合計画該当施策の2番目の空き家の適正管理については所有者の責任なので、文末の「空き家の所有者への支援を…」を「空き家の所有者への助言・指導・支援を…」と強い表現にはできないかと。	空き家の適正管理の文章については、前段にて所有者に助言や指導を行うことをすでに記載しています。	

番号	後期基本計画 総合戦略	該当 ページ	項目	意見	町の考え方	案の修正
28	総合戦略	-	-	竪坑槽。重要文化財指定解除申請。カウントダウン機能付き時計台化。ネーミングライツ料、若しくはSEIKO、CITIZEN等掲示で維持管理。閏年毎にカラー変容。	旧志免鉱業所竪坑槽は、今後も国指定重要文化財としてまちの魅力の発信に活用していきます。	
29	総合戦略	-	-	ボタ山再生。国際競技対応のマウンテンバイク村構想。先日、首相官邸に搬入された Fukushima 除染土が我が町でも利用可能なら施設建設の基礎に活用。	ボタ山の敷地内は他町も有していることから、他町と構成する国鉄志免炭坑ボタ山開発推進協議会において今後も活用を協議していきます。	
30	総合戦略	-	-	渋滞緩和策。人口減少下、地下鉄延伸は困難。空港バスターミナル創設に鑑み、イオンモール福岡とパークアンドライド提携。2層化。空港まで自動運転バス専用レーンを設け宇美須恵粕屋と共同運用。	道路の渋滞緩和については、町としても課題として認識しており、引き続き、地域の交通環境の改善に向けて、関係機関との連携を図りながら、実現可能な取組を検討していきます。	
31	総合戦略	2	3 基本目標	人口減少克服・地方創生に取り組む中で、海外の方々(外国人)の活躍と地域への貢献を推進する必要があると考えます。特に基本目標Ⅱ～Ⅳについて外国人の参画と活用を視点とした取り組みとKPIの設定が有用だと思います。 <基本目標> ■未来を担う人材を育成するまち ■健康に生き生きと暮らせるまち ■ひとが集う、暮らしやすい魅力的なまち	各基本目標の達成には、地域に根ざした多様な担い手の育成が肝要であり、外国人を含む幅広い住民の参画が望ましいと考えています。一方で、具体的なKPI設定等には地域特性や受け入れ体制の成熟度などを丁寧に見極める必要があります。今後も町、地域の持続可能な発展に向けて、多角的かつ段階的な視点から取組を進めていきたいと考えています。	